

美郷町過疎地域持続的発展計画（案）へのパブリックコメントの結果について

実施期間：令和3年11月2日(火)～11月19日(金)

意見および提案者数：1名

意見および提案件数：4件

No	項目	意見の内容	意見等に対する本町の考え方
1	4.地域における情報化 (2) その対策 ②行政のデジタル化の推進	デジタル化推進の流れに「買い物支援」という言葉がありますが、具体的にどのような支援を考えていますか？「美郷町内のお店の商品を発注・配達依頼できる」「ネットショッピング（amazonなど）できる」など何か具体的な構想があれば知りたいです。	町内商品を自宅から発注できるような仕組みが構築出来ればと検討していますが、商品の発注が出来ても商品を配送するところまで人手が回らないのが現状の課題です。 また、物流業界においても人手不足に悩まされており、今後この状況が深刻化すると配送地域の縮小が予測され、採算性の低い中山間地域への配送は縮減対象となりかねません。 そのため、美郷町ではデジタル技術を活用した買い物支援策として、ドローンによる配送サービスが本町において実現可能かどうかを検討しているところです。（P68の表中に該当事業を記載）
2	3.産業の振興 (2) その対策 ②商工業の振興	移動スーパー「とくしまる」が一部の地域に来ているようですが、町内消費誘導の取り組みの一つとして、町独自の移動スーパー（町内のスーパー、商店の品を陳列）のようなものを、公共交通難民地域や独居高齢者対象向けにサービスすることは難しいでしょうか？ 買い物代行業務はありますが、「自分で商品を選ぶ」という行動は、認知機能低下を防ぐ上でも大切なような気がします。また、出産前後の女性も利用可能なサービスとなれば、子育てのしやすい街としてPRできるのではないのでしょうか。	町独自の移動スーパーを運営するにあたっては、町内のスーパーや小売店との連携が必須となります。 また、利用者のニーズにより、その支援内容は移動販売・配送サービス・店舗受け取りなど多岐に渡ると考えられます。 今後の社会情勢と町民のニーズを考慮し、いただいたご意見も参考にしながら今後の施策に活かしてまいります。
3	9.教育の振興 (4) 公共施設等総合管計画との整合	給食センターに関して、高齢者施設の食事サービスなどへの活用とありますが、施設以外からも昼食が発注できるようになれば、さまざまな場所で高齢者の孤食対策としての会食サービスを展開できるのではないのでしょうか。	給食センターにおいては現時点で学校給食以外のサービスを提供可能な状況にありません。しかし、今後町内小中学校の児童・生徒数の減少等により、他のサービス提供が検討される事となった際には、いただいたご意見も参考にさせていただきます。

4	7.子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	<p>「町に特養がないから、町外の施設に入った」という話を聞きました。これだけ高齢者が多いのに、高齢者施設は少ないように感じました。少子化対策はもちろん大切ですが、地域密着型特養を立てることは難しいでしょうか？</p> <p>介護福祉士など高齢者関連の資格が取れる専門学校を町内に設立し、学校卒業者が美郷町内の施設で何年間か働けば学費免除等の特典を用意するなどして移住者を増やすことはできないでしょうか。</p> <p>特養については福祉施設らしい建物ではなく、おしゃれな建造物にして、それを売りに入居者と従業員の募集を図って移住者を増やすことも一つだと思います。</p>	<p>美郷町の人口予測は引き続き年々減少していく見込ですが、一方で、高齢者の割合は2025年がピークとなり以降は横ばいか減少していくと予測されています。このことから、新たな施設の整備については、現在のニーズだけでなく、将来のニーズや財政状況を考慮して計画する必要があり、現時点では特別養護老人ホームの建設や福祉関連専門学校の設立を計画に盛り込むのは困難であると考えます。</p> <p>一方、美郷町は活動人口（町外に居住しながら、美郷町のために活動してくれる人）の増加を目指しており、健康・福祉分野においてもその可能性は十分にあると考えます。いただいたご意見も参考に、今後の高齢者対策を進めてまいります。</p>
---	-------------------------------	--	--